【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和7年7月3日(2025.7.3)

【国際公開番号】WO2024/095386
【出願番号】特願2024-553997(P2024-553997)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｆ 40/46(2020.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｆ 40/46

【手続補正書】
【提出日】令和7年4月23日(2025.4.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
筒状構造を有し、前記筒状構造の内部にエアロゾル生成基材が挿入される保持部と、
外部から前記筒状構造の底面を貫通して前記筒状構造の内部に突出し、エアロゾル生成基材を加熱する発熱部と、
前記筒状構造の外部の前記発熱部から前記発熱部の延在方向と直交する方向に張り出したフランジ部と、
前記発熱部の延在方向にて前記フランジ部を挟持する固定部と、
前記フランジ部と前記固定部との間に設けられ、前記筒状構造の内部から前記発熱部に沿って連通する空隙を密閉する密閉部材と、
を備える、エアロゾル生成装置。
【請求項２】
前記密閉部材は、前記発熱部の延在方向に圧縮応力を発生させる、請求項１に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項３】
前記密閉部材は、弾性材料又は金属材料で構成される、請求項２に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項４】
前記密閉部材は、リング形状である、請求項１～３のいずれか一項に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項５】
前記密閉部材の直径は、１ｍｍ以上８ｍｍ以下である、請求項４に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項６】
前記空隙の前記フランジ部と前記固定部との間における幅は、前記密閉部材の厚み以下である、請求項１～3のいずれか一項に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項７】
前記密閉部材の厚みは、１ｍｍ以下である、請求項６に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項８】
前記固定部は、前記発熱部と離隔して前記フランジ部に対して前記保持部と同じ側に設けられた第１の固定部と、前記フランジ部に対して前記保持部と反対側に設けられ、前記発熱部の延在方向と直交する方向にて前記発熱部を挟持する第２の固定部とを含む、請求

項１～３のいずれか一項に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項９】
前記フランジ部は、前記第１の固定部と、前記第２の固定部とで挟持される、請求項８に記載のエアロゾル生成装置。